

# 時津川水系河川整備基本方針

平成 13 年 9 月

長 崎 県

# 時津川水系河川整備基本方針

## 目 次

1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 .....	1
( 1 ) 時津川流域の概要.....	1
( 2 ) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 .....	3
1 ) 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項.....	3
2 ) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項 並びに河川環境の整備と保全に関する事項.....	3
3 ) 河川の維持管理に関する事項.....	4
2 . 河川整備の基本的となるべき事項.....	5
( 1 ) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項 .....	5
( 2 ) 主要な地点における計画高水流量に関する事項 .....	5
( 3 ) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅 に関する事項 .....	6
( 4 ) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な 流量に関する事項.....	6
< 参考図 >	
時津川水系流域概要図	

## 1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

### (1) 時津川流域の概要

時津川は、流域の上流は長崎市に、中下流は時津町に位置し、標高 413m の烏帽子岳にその源を發し、長崎市の住宅地を東流し、打坂地先で流れを北に変え、中流から国道 206 号沿いに時津町の市街地を貫流して大村湾に注ぐ幹川流路延長約 3.5km、流域面積約 4.8km<sup>2</sup> の二級河川です。

流域の気候は、年平均気温 16～17 程度と比較的温暖です。年平均降水量は概ね 2,000mm 程度ですが、台風常襲地帯であることや梅雨による影響により 6 月～9 月の降水量が多くなっています。

流域の地形は、大部分が山地や丘陵地で平坦地はきわめて狭いため、市街地は時津川の沖積作用によって形成されたわずかな低平地だけでなく、山腹斜面にまで広がっています。

流域の土地利用状況は、河口から中流域にかけては時津川沿いに商業地域が形成され、住宅や学校、病院、郵便局などの公共公益施設がこれを取巻くように集積し、近年都市化が進行しています。上流域も長崎市のベッドタウンとして宅地化が進んでおり、山林は上流の一部に大村湾県立公園を中心に部分的に残るのみとなっています。流域内人口は、約 16,700 人で近年増加傾向にあります。また、河川と並行している国道 206 号の他にも流域内には国道 207 号や川平有料道路などがあり、幹線道路として重要な役割を果たしています。

時津川の治水・利水・自然環境および河川利用状況の概要は以下に示すとおりです。

#### 治水の概要

時津川は、街の中心部を流れる河川で、古くから治水対策が行われてきましたが、流域内は急峻な地形で山が川沿いまで迫っていることもあり、過去幾度となく洪水被害に見舞われてきました。なかでも、長崎市を中心に死者・行方不明者 299 名、被害総額 3,150 億円という甚大な被害をもたらした昭和 57 年 7 月 23 日の「長崎大水害」では、時津川の中・下流域において氾濫し、浸水面積 33ha、浸水家屋 650 戸、被害総額約 26 億円という被害を受けました。

この災害を契機に昭和 57 年より河道拡幅、河床掘削等を実施していますが、今後とも治水対策を継続していく必要があります。

## 利水の概要

時津川は時津町の水道用水の水源として利用されています。時津川流域では、昭和 53 年に深刻な渇水被害に見舞われましたが、近年は時津町内に久留里ダムや中山ダム等の水資源開発施設が整備されたことにより、給水制限などの深刻な渇水被害は生じていません。

## 自然環境および河川利用状況

時津川の上流域は、急峻な地形でスギ・ヒノキの植林やシイ・カシ林がその多くを占めています。河岸は護岸整備が施されていますが、河道内の堆砂した河床にススキ、ダンチク群落などが見られます。魚類としては、オイカワ、ヨシノボリなどが、鳥類としてはアオサギなどが確認されています。

中流から下流域にかけては市街地であり、河岸は護岸整備が施されていることや、下流域は感潮区間であるため、河道内の植生はあまり見られません。魚類としてはボラ、オイカワなどが、鳥類としてはゴイサギやヒヨドリなどが確認されています。

河川の利用については、時津川の護岸が急勾配であり水辺に近づきにくい状況にあるため、水辺での利用はみられないものの、市街地では、通行や川沿いの散策などに利用されています。また、時津川の河川水は時津町の水道用水として利用されています。

水質は、公共用水域水質測定により新地橋地点において水質観測が行われており、水質環境基準は C 類型（5 mg/ℓ以下）に指定されています。同地点における平成 2 年～平成 11 年の B O D 7 5 % 値の平均は 9.1 mg/ℓとなっていますが、公共下水道の普及率向上（平成 11 年度末現在約 70%）に伴い平成 11 年度には 3.6mg/ℓと環境基準値を満足しており、近年改善傾向にあります。

## (2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

長崎県では、長期総合計画の中で「地域を支え合う安全・安心な社会づくり」、「自然環境と人々が共生する社会づくり」を政策に掲げ、安全で快適な生活環境づくりをめざしています。

時津川の整備においても、これらの基本理念に基づき、関連地域の社会、経済の発展に係わる諸計画（時津町都市計画マスタープラン、長崎市総合計画等）との調整を図りながら、水源から河口まで一貫した計画のもとに河川の総合的な保全と利用を図ります。

またその際、地域へ種々の河川情報を提供するとともに、河川に対する要望の集約、河川の整備・保全に係る取り組みの促進・支援を行い、地域住民と連携した川づくりを行っていきます。

### 1) 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項

時津川は、想定氾濫区域内の状況等を考慮したうえで、概ね100年に1度程度の確率の降雨で発生する規模の洪水を安全に流下させることのできる整備をめざします。

また、整備途上における施設能力以上の洪水や計画規模を超過する洪水等に対しては、警戒避難体制及び情報連絡体制の整備等のソフト対策を総合的に実施します。さらに、災害に強い地域づくりのため、土地利用計画との調整を行うなど、流域と一体となった取り組みを推進します。

### 2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに河川環境の整備と保全に関する事項

河川水の利用に関しては、地域住民や時津町等関連する他行政機関との緊密な連携のもとに、合理的な水利用の促進等適正な水利用を図ることにより、流水の正常な機能の維持に努めます。

また、河川環境の整備と保全に関しては、ヨシノボリ類やススキなどの動植物の生息・生育環境の保全に努めるとともに、時津川という都市河川が地域住民の憩いの場所として利用されるよう河川空間の整備を図ります。

### 3) 河川の維持管理に関する事項

時津川では昭和 57 年 7 月 23 日の「長崎大水害」により時津市街地が甚大な被害を受けていることもあり、地域住民の水害に対する防災意識は高いものがあります。また、近年では環境に対する関心も高まってきているため、関係自治体や地域住民と連携し、災害の発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、その機能を十分に発揮させるため適切な維持管理を行います。

2. 河川整備の基本的となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水流量は、概ね 100 年に 1 度程度の確率の降雨で発生する規模の洪水とし、そのピーク流量は基準地点鳥越橋において  $115\text{m}^3/\text{s}$  と設定し、これを河道に配分します。

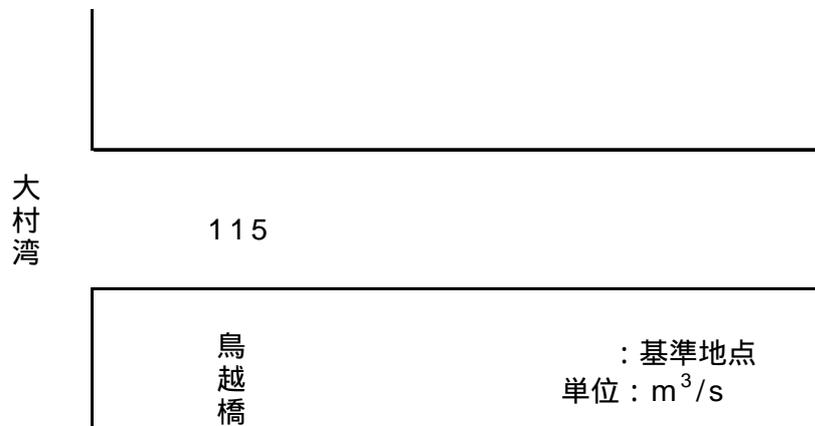
基本高水のピーク流量等一覧表

(単位： $\text{m}^3/\text{s}$ )

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
時津川	鳥越橋	115	-	115

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

時津川における計画高水流量は、基準地点鳥越橋において  $115\text{m}^3/\text{s}$  とします。



時津川計画流量配分図

- ( 3 ) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項  
 本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は次表のとおりとします。

主要地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅一覧表

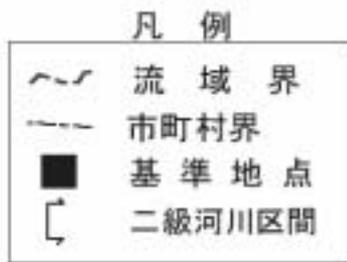
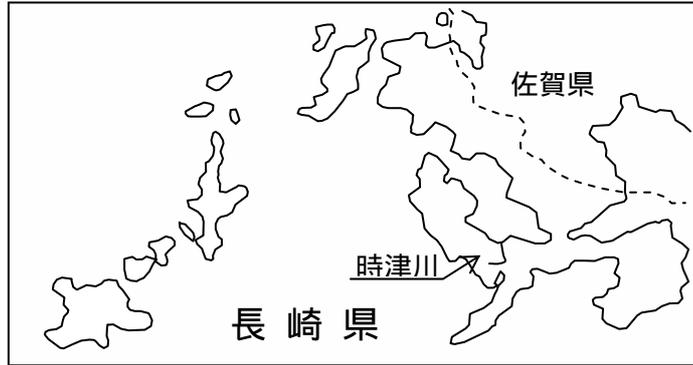
河川名	地点名	河口または合流点からの距離(km)	計画高水位 ( T.P.m )	川 幅 ( m )	摘 要
時津川	鳥越橋	0.90	+7.4 7	1 5	基準地点

( 注 ) T.P. : 東京湾中等潮位

- ( 4 ) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

時津川の水利用としては、水道用水として最大  $0.011\text{m}^3/\text{s}$  (  $950\text{m}^3/\text{日}$  ) の許可水利があります。

流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関しては、今後、流量データの蓄積、水利用の実態把握等に関する調査検討を行います。



時津川水系流域概要図

S = 1/25,000